

第 66 回全国教育系大学陸上競技大会要項

1. 主 催 九州学生陸上競技連盟・福岡教育大学（2026 年度当番大学）
2. 運営協力 一般財団法人福岡陸上競技協会、
3. 期 日 2026 年 8 月 1 日（土）
4. 会 場 博多の森陸上競技場
5. 参加大学 北海道教育大学・宮城教育大学・東京学芸大学・上越教育大学・愛知教育大学・奈良教育大学・京都教育大学・大阪教育大学・兵庫教育大学・鳴門教育大学・福岡教育大学
以上 11 大学

6. 競技種目 **【男子対校の部】（15 種目）**
100m・200m・400m・800m・1500m・110mH・400mH
4×100mR・4×400mR
走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・やり投
【女子対校の部】（15 種目）
100m・200m・400m・800m・1500m・100mH・400mH
4×100mR・4×400mR
走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・やり投
【男子オープンの部】
※上記対校の部と同じ 15 種目
【女子オープンの部】
※上記対校の部と同じ 15 種目

7. 参加資格 参加大学陸上競技部員で 2026 年度日本陸上競技連盟登録者に限る。また、参加大学の卒業生で、2026 年度日本陸上競技連盟登録者はオープン種目に参加できる。
※個人種目については出場できるのはオープンを除き、1 種目につき各校 3 人以内とする。また、1 人が出場できるのはオープンを含め、3 種目以内とする。
※リレー種目については、対校は各校 1 チーム、オープンは各校 3 チームまでエントリーできる。

8. 申 込
- 1) 本大学より送付したエントリーファイルを使用すること。
 - 2) 基本情報登録・様式（男女リレー別）に必要な事項を入力後、Excel データを本大学メールアドレスに送信すること。
ファイル名は【〇〇全教戦】
（〇〇は所属名）、メールの件名は全国教育系大学陸上競技大会申込とすること。
 - 3) エントリーファイルのシートを印刷し、明細書に受領書を張り付けて、下記の住所まで郵送すること。
 - 4) 2)、3) の両方を申込期限までに行うこと。
※どちらか一方だけではエントリーを認めない。
9. 申込期日
- 2026 年 7 月 1 日（水）18:00 までに前記申込場所に必着のこと。
なお、締め切り後の申込は一切受け付けない。
10. 申込先
- 〒811-4246 福岡県宗像市赤間 5-2-1
カラーレ赤間 I 201 塚本華帆 宛
TEL 070-2343-5856
E-mail utef.tandf@gmail.com
11. 参加料
- 1 種目：2,000 円 リレー種目：3,000 円
参加料及び分担金は申込期限までに下記口座に**団体名義で振り込むこと**。また、振込受領書のコピーを参加料明細書の振込金受領書貼付欄に貼付けて郵送すること。領収書が必要な場合は明細書にその旨を明記すること。
- | |
|---------------------|
| 金融機関：190 西日本シティ銀行 |
| 支店名：322 赤間支店 |
| 種別：普通 |
| 口座番号：3 3 2 8 0 0 5 |
| 口座名義：片平誠人（カタヒラ マコト） |
- ※参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。
12. 競技規則
- 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び全国教育系大学陸上競技大会申し合わせ事項による。
13. 得 点
- 各種目 1 位 8 点、以下 7,6,5,4,3,2,1 点とする。

14. 表彰 対校男女のそれぞれにおいて総合優勝、トラックの部、フィールドの部の第3位までを表彰する。なお、対校各種目は第3位まで表彰する。総合優勝及び各部において同点の場合は、優勝種目数の多い大学を上位とする。それでも決定しない場合、2位入賞数の多い大学を上位とし、以下、8位までの入賞数で順位を決定する。8位までの入賞数も同数の場合、同順位とする。
15. 代表者会議 前日に予定しておりました代表者会議はメールによる書面会議(資料配信)へと変更する。
16. 棄権 やむを得ず棄権をする場合は、下記の要領で申し出ること。
- ・ 7月28日(火)までに欠場となることが決まっている場合は、事前に各大学に送付した欠場届を、7月28日(火) 23:59 までに、メールに添付して送信すること (E-mail: utef.tandf@gmail.com 担当: 塚本)。
 - ・ 7月29日(水)以降に欠場となることが決まった場合には、大会当日、欠場届(TICで配付)に必要事項を記入して、招集所(正面玄関横)とTIC(陸上競技場玄関ホール付近)の2カ所に提出し、承認を得ること。
17. アスリート ビブス 各大学で用意すること。
18. 出場校受付 当日8時までに大会本部で行うこと。やむを得ない事情がある場合は事前に本大学まで連絡すること。
19. 開閉会式 開会式及び閉会式は、アナウンスにより実施する。
20. 注意事項
- ①暑熱対策について
 - ・ 本大会は、公益財団法人日本陸上競技連盟「主催競技会における暑熱対策について(2025年10月23日通知)」ならびに一般財団法人福岡陸上競技協会「県公認大会申請時 暑熱対策チェックリスト(2026年1月4日通知)」に準じて、参加者・役員・観客の安全を最優先に運営する。
 - ・ 詳細については、別紙、「第66回全国教育系大学陸上競技大会 暑熱対策について」で示すとおりとする。
 - ②競技日程について
 - ・ 申込締切後に本大学よりメールにて送付する。

③競技中の負傷について

・競技会中の負傷について、主催者は応急処置を行うが、以後の責任は一切負わないものとする。ただし、2026 年（公社）日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

・当日は健康保険証のコピーを必ず持参すること。

④用器具について

競技に使用する用器具は主催者側が用意する。ただし、やりについては検定を受けて合格したものは使用を認める。検定に合格した用器については、持ち込み競技者以外にも使用する権利があるとする。使用に関して破損等の事故の際は、当該使用した競技者の責任とし、主催者は責任を負わない。

※検定に関しては競技注意事項を確認すること。

⑤個人情報について

主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラム編成および作成、記録発表、競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用する。

⑥問い合わせについて

不明な点がある場合には、必ず本大学の担当者に問い合わせること。競技場には問い合わせないこと。

- | | |
|----------|--|
| 21. 宿 泊 | 必要に応じて、事前を送付した要領に従い、京王観光の担当者へ申し込むこと。 |
| 22. 前日練習 | 博多の森陸上競技場のサブグラウンドで実施が可能である。個人利用となるため、使用する際は各自で手続きを行うこと。なお、利用できる時間は、9：00～19：00 となるので、時間を厳守すること。
利用料金は一般 200 円/回となっている。 |
| 23. 駐車場 | 本大会においては、駐車場として使用できる場所には限りがある。使用する場合は、第 1、第 2 駐車場を使用すること。 |

24. その他

- ①競技注意事項、大会申し合わせを福岡教育大学陸上競技部 HP に掲載するため、確認の上、競技会に参加すること。
- ②報道関係者は本部で受付を行い、渡されたビブスを必ず着用し取材すること。受付を行わない場合は、取材を許可しない。
- ③大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。
- ④観客席からの撮影は、スマートフォン、タブレット端末を使用した撮影のみ可能とし、それ以外の機材（一眼レフカメラ等）による撮影は禁止する。

【問い合わせ先】

福岡教育大学陸上競技部

全教戦担当 塚本華帆

TEL：070-2343-5856

E-mail：utef.tandf@gmail.com

別紙

第 66 回全国教育系大学陸上競技大会
暑熱対策について

本大会は、公益財団法人日本陸上競技連盟「主催競技会における暑熱対策について（2025 年 10 月 23 日通知）」ならびに一般財団法人福岡陸上競技協会「県公認大会申請時 暑熱対策チェックリスト（2026 年 1 月 4 日通知）」に準じて、参加者・役員・観客の安全を最優先に運営する。

暑熱対策について

1. 大会当日は競技エリアにて 30 分毎に暑さ指数（以下、WBGT）を計測し、その結果に基づき大会本部（大会総務）が実施可否、開始時刻の変更等を判断する。
2. WBGT を大会運営の判断基準とし、WBGT が 28℃以上の場合は、給水・休憩の徹底、競技時間短縮のためフィールド種目の試技回数などの変更等の措置を講じる。
3. WBGT が 31℃以上となった場合は、原則として競技を中止・中断するが、その判断は大会本部（大会総務、総務員、審判長で協議の上）が行う。
4. 競技の中止・中断が決定された場合は、速やかに各大学の主務（代表者）に連絡できるような連絡体制を明確にしておく。
5. 救護所は競技場内の医務室とし、熱中症対応が可能な医師・救護スタッフを配置する。また、冷却設備（氷・ミスト・扇風機等）と搬送手段を確保する。
6. ゴール付近に、アイスシャワーを準備するとともに、ゴール付近の会議室をクーリングルームとして開放する。
7. 参加大学には、事前に日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」の内容を共有し、代表者会議において、再度、暑熱対策及び体調不良時の対応の確認をする。
8. 本大会に関係する組織体（スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本陸上競技連盟等）から、新たに暑熱対策に関するガイドライン等が示された場合には、その内容に則り大会運営を行う。